

滝川市環境市民大会に参加しました



【ワークショップの様子】

うワークショップが始まりました。講師は元中学・高校の教員で現在は札幌市で環境カウンセラーとして活躍されている岡崎朱実さんです。先日発効されたパリ協定のお話から、身近な環境問題についてわかりやすく講義を受けました。その後グループに分かれて、市民に向けて発表したい内容についての討議を行いました。10名が3つのグループに分かれて、「パリ協定について」「マレーシア・ボルネオ島の環境変化について」「滝川市の環境変化について」のテーマで発表することになりました。その後、3回にわたって岡崎さんを札幌からお呼びして、発表についての指導を受け、大会での発表に望みました。

11月5日の環境市民大会は、滝川市のマリアーージュ・イン・ベルコで約130名の市民を迎えて行われました。前田市長からの挨拶のあと、札幌で消費生活アドバイザー、省エネルギー普及指導員として活躍されている宮森芳子さんから「身近な環境教育！省エネ節電」というテーマで講演をしていただきました。現在起こっている環境問題、30年後の気候変動や、私たちにできる身近な節電の仕方など興味深いお話をいただきました。



【本校生徒の発表の様子】

訪れた生徒たちが、行く前のイメージと全く違ったボルネオ島の都市化や森林減少について日本との関係を交えながら説明しました。最後は「滝川市の環境変化について」です。過去40年間の滝川市の気温変化や降雪量の変化や、高校生、市役所職員、農業関係者たちへのアンケート結果のデーターに基づいた滝川市の温暖化についての現状や、それに伴う農作物への影響などを説明しました。SSHで日頃取り組んでいる情報収集能力や発表能力を十分に発揮した発表でした。

今回の発表会は、校内だけにとどまらず、外部講師との連携や、市民に向けた良いアピールの機会となりました。

11月5日(土)に行われた滝川市環境市民大会に本校生徒10名が参加して、「地球温暖化防止、環境保護」をテーマに発表を行いました。

滝川市では今年度から10年間の期間で第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画を掲げ、地域の環境保全や環境教育の取り組みを推進しています。

本校のSSHのメインテーマである「環境共生」との関わりも強いことから、今年からこの大会に参加する運びとなりました。

発表に先立って、9月から生徒たちが環境についての学習を行



【宮森さんの全体講演】

次に滝川市内3つの高校の生徒で構成している「エコ部」の活動についての報告がなされました。リサイクル活動や地元の小学生や中学生に対するエコ教育の様子などが紹介されました。

最後に本校生徒の発表です。まずは「パリ協定について」。今月から発効されたパリ協定について、その成立までの過程や成果、問題点などをわかりやすく説明しました。続いては「マレーシア・ボルネオ島の環境変化について」です。8月に海外研修でボルネオ島を



【岡崎さんからの講評の様子】